



2007/08 WEEKLY BULLETIN

国際ロータリー第 2790 地区第 3 分区 B

市原ロータリークラブ会報

第 2167 回例会 2008 年 5 月 14 日(水) SAA / 川島会員 会報担当 / 三宅会員

例会場 五井グランドホテル 市原市五井 5584 - 1 事務局 TEL 0438-38-3535



点 鐘 市原 RC 会長 角谷 修

ソング 我等の生業

四つのテスト唱和

お客様 なし

会長挨拶 市原 RC 会長 角谷 修



皆さんこんにちは！

今日、佐藤勇会員のお見舞いに行って参りました。

3 月 25 日に倒れられて 1 ヶ月半経ちましたが、西村会員始め五井病院のスタッフの方達の懸命なご努力の結果、目覚しい回復ぶりでした。

改めてロータリーの友情に感謝したいと思います。

今日は蔵内会員の卓話です。

永い間地域医療に貢献し今日の蔵内医院を支えてこられました。

昨年度は当クラブプログラム委員長として活躍し、その豊富な知識と院長夫人としての交友の広さは、皆さんご存知の通りです。

今日は、昨年度のプログラム委員長としてのご苦労話や、お得意のゴルフのお話し等お楽しみにお聞き下さい。

幹事報告 幹事 斉藤栄志

・市原・市原中央 RC 合同ゴルフ大会について

5 月 22 日(木)グレートアイランド倶楽部 8 : 30 集合

卓話 蔵内玲子会員



蔵内玲子です。私は実は 4 月 19 日から緊急入院して 5 月 8 日に退院しました。その間 2 週間の絶食が続きました。食べられるようになったのは 5 月に入ってからで、重湯から始まりました。食べるのが何よりも好きという私が、消化器系の病気で入院なんて自分で信じられません。昨年経営者協会の中国旅行に行った時でも、下痢を訴える人も多かったのですが、私は下痢ひとつ致しませんでした。そんな私が食べられないとは、一寸先は闇です。

今日は食べられない苦しみのお話ではなく、日野原重明先生のお話をしたいと思います。私の最も尊敬する人です。たまたま同窓会便りを見ていましたら、先生の特別寄稿が掲載されていました。本当にまめな方なのでしょう。多分メモ魔なのでしょう。私の母校の評議員をなさっていらして、少し関係あるのでしょうか。私の学生時代はあまりまじめに勉強するタイプではありませんでした。先生の特別講義があっても出席していませんでしたね。

私はベストセラーになった「生き方上手」を読んで非常に感銘を受けました。先生が 90 歳を過ぎてから書かれた本です。私はここに「新生き方上手」を持っています。日野原先生のサイン入りです。私の自慢の宝物です。

昨年木更津のアカデミアホールで、医者と医療関係の従事者を対象としたシンポジウムがありました。息子に是非とも私が参加したいと頼みました。お手元の資料にあるように先生は 1911 年生まれ 96 歳です。

本は書けるけれども、実際はご自分で歩けないのではないかと思っていました。アカデミアホールにいらしたことがある人はいらっしゃいますか。結構広い舞台です。紹介されて舞台に出ていらした先生は、手をつながれることもなく、自分一人で歩いていらっしゃいました。もうびっくりです。講演をしている時も、あの広い舞台を縦横無尽端から端まで歩かれるのです。私はミーハー気分では聞いていたので内容は覚えていません。大きいスライドを使って説明をしました。スライドを変えるのも助手にさせるのではなく、ご自分で帰るのです。言葉も明瞭で解り易く、よく通る声でした。100歳近くまで生きる人は近年多くなりました。しかしあのように頭脳明晰な人はめったにいません。講演が終わって帰る時も、結構早足です。私は、私の足では追いつかないので「日野原先生！」と声をかけました。結構聴力も良いのですね。振り返って、「何か御用ですか？」と返事をしてくださいました。持っていた著書にサインをしてくださいと頼みました。快くサインをいただきました。「また新しい本がでますから、また読んでくださいね」とにっこり笑ってやさしく話してくれました。

まだ時間があるようです。日野原語録を一部印刷してみました。読んでみたいと思います。先生はクリスチャンです。父親が牧師です。ロータリーの精神と相通ずるところが多々あると私は思います。

日野原重明（ひのはら しげあき）

1911年生まれ。1937年京都帝国大学医学部卒業

1941年聖路加国際病院内科医となる

現在、聖路加国際病院理事長 同名誉院長

聖路加看護学園理事長

(財)ライフプランニングセンター理事長

日本初の人間ドック開設に携わる

ターミナルケア(終末期医療)の普及に尽力

1999年文化功労者、2005年文化勲章受賞

「生き方上手」「続生き方上手」「新生き方上手」など

「生き方上手」シリーズは累計200万部突破

*習慣は毎日の行動の積み重ねですから、「明日から変えよう」ではなく、今すぐに行動を変えていく強い意志が必要です

*豊かな感受性や情緒は、友達や年上の人とのかかわりあいでも育まれます。人間の知恵も人とのかかわりあいを通して受け渡されていくのです。

*才能というものは、誰の中にも無限に眠っていて、花開く瞬間を待っているのだらうと私は思います。

*生きている限り、新しい喜びをうることに私はもっと貪欲であっていいと思います。それが若々しい老い方というものです。

*人生むだというものはないもので、しかし、後にならないと、その意味が分からないということがたくさんあるのです。

*苦難や不幸を呪っている限り、人は停滞し身動きできません。「ここから始まる」ととらえ直すことができれば、私たちは必ず前進できます。

*生きるとは、自分で自分を育てていくということです。学び続ける喜びをいつまでも感じていきたいのです。

*生きていることの意味は、自分で探し勝ち取るもので、それがつまり生きがいになります。

*歳を重ねると、それだけ別れや苦しみに出会うことも多くなりますが、悲しみは時が癒してくれます。そして、時が過ぎ行く間に、手を差し伸べてくれる人も現れるでしょう。あなたが、自分の時間を誰かのために使うことを避けさえしなければ、新しい友人はいつもあなたのそばにいるのです。

ニコニコ・ソーリーボックス

藤谷会員・小川会員 次年度の委員会の名簿をお配り致しました。ご支援ご協力をお願い致します。

白鳥ガバナー おかげさまで、チャリティーショーのチケット完売致しました。ありがとうございました。

蔵内会員 つたない卓話をお聞き下さいまして有り難うございました。不覚にも体調を崩しました。例会を休みました。

角谷会長 本日、佐藤勇さんのお見舞いに行って来ました。とても元気でした。全快される事を祈って！

山崎会員 今日氷雨。40数年前の商品の少なかった一文商いのくらしの我カッパ屋の寒々とした店先を思い出しました。

出席報告

本日出席者 36名 欠席者 15名 本日出席率 70.6%